

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなでつくる未来型図書館 ニュースレター vol.17

未来型図書館の整備・運営に向けた事業者選定については、令和8年度の事業者決定に向け、着実に手続きを進めています。今後の未来型図書館づくりにおいても、引き続き「こまつリビングラボ」における市民の皆さんとの対話を大切にしながら取り組みを進めてまいります。

こまつリビングラボ

これまで、皆さんと共に未来型図書館づくりを進めてきた対話と活動の場「こまつリビングラボ」は、開館後の未来型図書館における多様な機能の融合・連携を支える共創のネットワーク基盤として、まち・地域に開かれた「共創のプラットフォーム」への発展を目指します。

今年度からは、未来型図書館づくりのリビングラボと並行し、こまつリビングラボの持続可能な運営体制の構築に向けて、都市再生推進法人である「こまつ賑わいセンター」と連携した取り組みを進めてまいります。

今年度のリビングラボの開催は市ホームページ等でお知らせします！お楽しみに！(^ ^)



事業の進捗について

未来型図書館の整備・運営においては、民間企業が持つノウハウを最大限に活かすため、官民連携手法（PFI手法）により、整備・運営を行う事業者の選定を予定しています。



9月19日に、PFI事業の実施方針案及び整備・運営の仕様書となる要求水準書案と、それらを分かりやすくとりまとめた「基本的な考え方」を市ホームページで公表しました。

子ども司書クラブ

8月9日に福井県敦賀市の公設民営書店「ちえなみき」を訪問し、施設見学やクイズ大会などを行う交流会を開催しました。クイズ大会では、小松市・敦賀市に関するクイズを通して敦賀市の皆さんと交流し、お互いをより深く知ることができました。

交流会の様子は未来型図書館noteにも掲載しています。ぜひご覧ください！



みんなでつなぐ未来型図書館

リレーエッセイ

第17回目は(株)こまつ賑わいセンター 小林社長です！

みなさま、「株式会社こまつ賑わいセンター」って知っていますか？

当社は、小松駅周辺の施設（Komatsu九、カブツキーランド、こまつアズスクエア等）を運営しています。また現在は、エリアマネジメント（まちづくり）にも力を注いでおり、商店街を含む「小松のまちなか」がどんな姿になればワクワクするかを、いろんな方と対話をしています！

北陸新幹線小松駅が開業したことで、複合ビルやホテル、高層マンションなど、街に変化が生まれてきています。

未来型図書館も、これから迎える大きな変化の一つ。みなさんは、どのように変化を活かしますか？そして、楽しめますか？

小松市は、未来型図書館の構想・運営に「リビングラボ」という手法・場を取り入れています。「リビングラボ」は、簡単に言うと「生活の場でみんなの」いいね！を試し、活かすことだと考えています。

こまつ賑わいセンターは、これから【小松に合うリビングラボの在り方】をみなさんと一緒に探求する役割を担います。

図書館は3つの「ち」（知識）「智（恵）」「地（域）」が集まり、何かが生まれる場所だと思っています。

ぜひ一緒に、小松の「ち」を活かしていきましょう！



小林 太一 社長

お知らせ

未来型図書館noteでは、様々なコラムを掲載中！
8月より開講した「子ども学芸員養成講座」のコラムの掲載もスタートしています！ぜひご覧ください！(^ ^)/

note インスタグラム 市HP

